

防災・しらかた

〈 白方区自治会 防犯・防災委員会 防災部会発行 〉

第 10 号
R8年2月
発行責任者
佐藤 一也
編集者
酒井 秀二
090-3245-8571

スローガン:あなたと、あなたの家族の命を守る地域の防災活動

「防災」新機材の紹介

令和7年度東海村コミュニティ助成金（宝くじ助成金）に応募し、予算認可され新しく機材購入しましたので紹介します。今回購入した機材は、防犯・防災用倉庫と車椅子及びトランシーバーです。災害発生時に、支障なく使えるよう普段のメンテナンスを欠かさず大事に保管する予定です。

1.防犯・防災用倉庫(設置場所 白方集会所裏)



新設 防犯・防災倉庫 ②



防犯・防災倉庫①②設置状況

2.車椅子※タイヤパンクレスタイプ 1機



この車椅子、トランシーバーは、上記防犯・防災倉庫②に収めてあります。

3.トランシーバー 出力5W2基



4.監視カメラ



「防犯・防災倉庫」内には高価な機材（発電機やトランシーバー等）が収納されているため施錠し、更に防犯カメラ及びセンサーライトを設置しています。

※白方区自治会防犯・防災委員会として、今後も関係する機器、機材の充実を図り緊急時対応を行えるよう準備・維持管理を図っていきます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

視察・研修会の実施

昨年8月25日（月）に白方コミセンに集合後、バスにて「いばらき消防指令センター」「常陸那珂火力発電所」「東海村外宿浄水場」「東海村清掃センター」を視察しました。「消防指令センター」の受信実態や対応。又、東海村のインフラ施設の概要や仕組み等を担当者様から丁寧に説明して頂きました。

視察参加者からは、非常に有意義な研修になりましたとお話もあり、今後も関係する団体、施設との連携や関係充実を図るように視察・研修を継続し、実施して行きます。



出初式参加



正月 11 日東海文化センターで本年度東海村出初式が実施され、白方自治会防災部会が参加しました。今回は、同施設の駐車場整備工事が行われているため、恒例の行進が実施されず残念でしたが、式典、各団体に消防機材の陳列や消防団の模範演習が実施されました。

白方区自治会防災について

大震災から 15 年目となり、復興も進みやや記憶も薄らいでいるのではないのでしょうか、当自治会の住民もご多分に漏れず高齢化が進んできています。自主防災に関しましては、先の震災で、教訓が2つあると思います。

1つは、「銚子の川口てんでしのぎ」「てんでんこ」つまり、自分のことは、自分で守らなければならないこと。⇒自助

2つは、子は親を、親は子を、小学生は幼稚園児を、中学生は小学生を、自治会は地域住民といった関係を深くすることが大切なこと。⇒共助

この2つのことが自主防災では重要なことでやはり人間関係を確実につなげる自治会の組織が、大きな意味を持つと思います。資機材の充実を図れていても資機材は何があるか、どこにあるか、使い方はどうなのか、また、もっと極端に言えば、この東海村白方地区で災害が発生したときには、どうすればいいかに繋がっていくでしょう。それについて、地域の皆さまの自治会各組織の参加によって自主防災活動が充実して行く事が大切なので、自治会活動に皆様の参加をよろしくお願いします。

※編集後記：皆様のご意見、ご指導をもとに活動を継続していきますので、よろしくお願いします。

防災部会長 酒井秀二